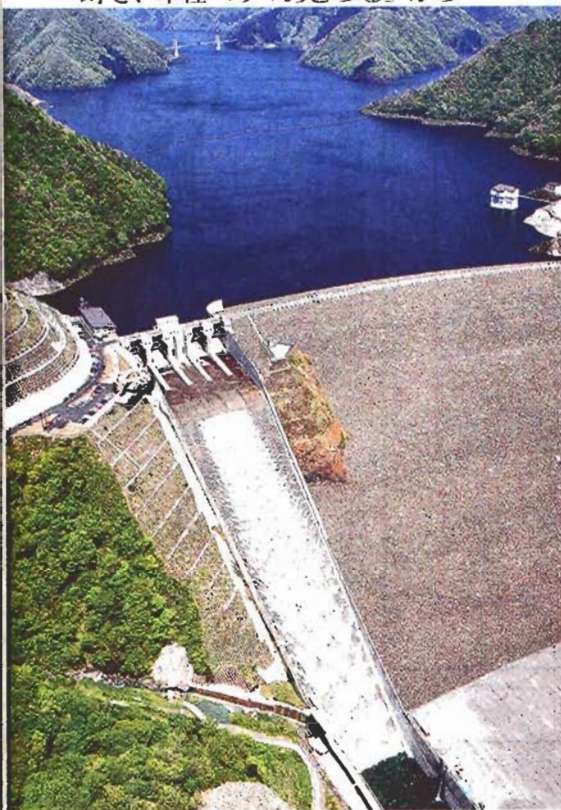


観光放流が開始され、きれいなうろこ模様を描き出す徳山ダム=揖斐川町で、本社へリ「あさづる」から



徳山ダム本格稼働から1年

難しい水需要開拓

徳山ダム(揖斐川町)は五日、本格稼働から一年を迎える。県が巨額の費用負担で確保した水の利用先が決まらないなど課題が残る。一方、地元ではダムを観光地にし、地域の活性化につなげようと模索が続く。(河原広明、岡本太)

「当初の考えから二年二十三億円ずつ返済 地下水を使い、水道用(現在の水需要が)乖する計画で、支払いは水と工業用水の全使用離していることは間違二〇〇八年度から始まる量のうち地下水の割合はない」。古田肇知事 った。このお金は本は98%近くだ。は四月二十八日の定例 来、県がダムの水を市 今のところ地下水は会見で苦渋の表情を浮 町村や企業に売った収 潤沢で、水道使用量は入でまかなう。誰も水 人口減や節水型家電の 県は徳山ダムに西濃 を買ってこれず、県は 普及などで横ばいから 地方で使う工業用水 自らの「財布」から支 減少傾向。十六万人を (毎秒一・四ト)と水 払わざるを得なくなっ 抱える大垣市は「水は 道用水(同一・二ト) た。利用がないと、返済 足りている。現時点で を確保するため、ダム は県民にのしかかる。 ダムの水は必要ない」 建設費として五百三十 億円の(利子含む)を は地下水に恵まれ、大 も伸びていない。 四億円(利子含む)を は地下水に恵まれ、大 も伸びていない。 負担。立て替えた水資 垣市は「水都」と称さ 地下水は無料だが、 源機構に二十三年間 される。市町村や企業は ダムの水は利用料金が

観光で町おこし模索



徳山ダム 水資源 発電などの多目的ダム。建設に伴い、旧徳山村全世帯の約1500人が移転した。1957年に構想が浮上し、昨年5月に本格稼働。総事業費は3500億円。計713億円を目的の計713億円を負担。利水分275億円のうち218億円は機構が立て替えており、県は2008年度から返済を始めた。返済額は利子を含めると、534億円。

が必要になる。海津市は「一市が自前で地下水を利用するコストと比べ、ダムの水を買う方が高いのは容易に推測できる。コスト増は市民の水料金に跳ね返る」と慎重だ。古田知事は会見で見通しの甘さを認めつつ、建設中の東海環状道西回り区間沿線への企業立地の可能性などを挙げて「水需要は長期的に考える必要があり、地元の発展とともに二一三は出てくる」と強調した。「(需要開拓の)分りやすい

見取り図ができていないのは事実」とも続静まり返ることが多くなった。ダム湖を望む資料館「徳山会館」の入館者は昨年前半まで毎月一万人を超えたが、本格稼働してからすべての月で前年を下回り、ほぼ半減。町が昨春から毎週末に走らせる観光バス「徳山ダム号」の乗車率も運行当初の90%台から、50-60%に落ち込んだ。過疎化が進む揖斐川町にとって、ダムをどう生かすかは地域活性化の鍵を握る。迫力ある「観光放水」で人気の黒部ダム(富山県立山町)は年間百万人が訪れる。まちづくりに取り組む地元NPO法人のメンバーらが「課題はあっても、ダムは大切な財産」と活用策を練り始めた。ダムを含めた観光ルートを設定し、PRする計画だ。四月二十九日には町も働き掛けてきたダムの「観光放流」が初めて実現した。活動に参加する主婦高橋美江さんは「せつかくの日本のダム。有効活用できるような知恵を絞りたい」と力を込める。

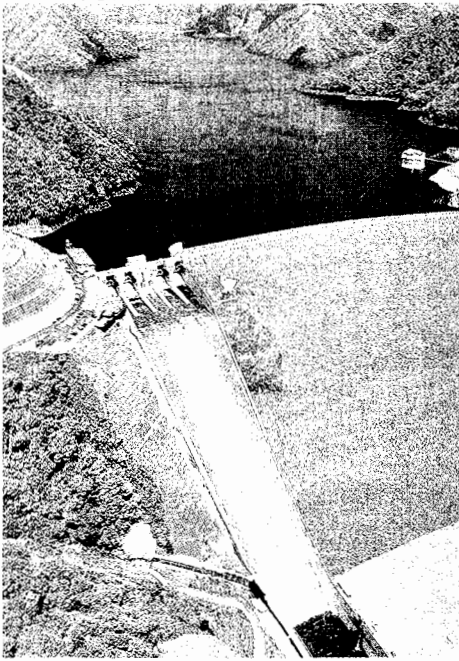


「あまり人は来なくなつたね。あれだけ騒いでいたのがうそみたい」。月に一度、ダムに足を運ぶ揖斐川町の無職清田孝治さん(68)は寂しそうに語る。ダム建設中は高さ百六十一メートル、貯水量日本一の威容を見ようと大勢の見物客が訪れた。過疎化が進む揖斐川町にとって、ダムをどう生かすかは地域活性化の鍵を握る。迫力ある「観光放水」で人気の黒部ダム(富山県立山町)は年間百万人が訪れる。まちづくりに取り組む地元NPO法人のメンバーらが「課題はあっても、ダムは大切な財産」と活用策を練り始めた。ダムを含めた観光ルートを設定し、PRする計画だ。四月二十九日には町も働き掛けてきたダムの「観光放流」が初めて実現した。活動に参加する主婦高橋美江さんは「せつかくの日本のダム。有効活用できるような知恵を絞りたい」と力を込める。



必要になる。海津市は「一市が自前で地下水を利用するコストと比べ、ダムの水を買う方が高いのは容易に推測できる。コスト増は市民の水料金に跳ね返る」と慎重だ。古田知事は会見で見通しの甘さを認めつつ、建設中の東海環状道西回り区間沿線への企業立地の可能性などを挙げて「水需要は長期的に考える必要があり、地元の発展とともに二一三は出てくる」と強調した。「(需要開拓の)分りやすい

観光放流が開始され、きれいなるろこ模様を描き出す徳山ダム。揖斐川町で、本社へリ「あさづる」から



徳山ダム本格稼働から1年

難しい水需要開拓

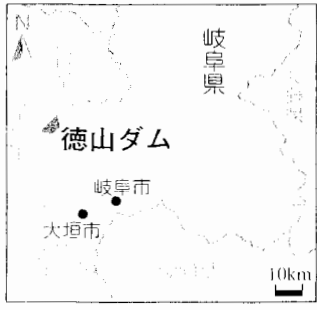
徳山ダム揖斐川町は五日、本格稼働から一年を迎える。県が巨額の費用負担で確保した水の利用先が決まらないなど課題が残る。一方、地元ではダムを観光地にし、地域の活性化につなげようと模索が続く。(河原広明 岡本太)

「当初の考えから二、三億円ずつ返済。地下水を使い、水道用(現在の水需要)が乖する計画で、支払いは水と工業用水の全使用離していることは間違二〇〇八年度から始まる量のうち地下水の割合はない」。占田肇知事。このお金は本は四月二十八日の定例来、県がダムの水を市潤沢で、水道使用量は町村や企業に売った収入でまかなう。誰も水人口減や節水型家電を買ってくれず、県は普及などで横ばいから地方で使う工業用水白らの「財布」から支減少傾向。十六万人を(毎秒一・四ト)と水払わざるを得なくな抱える大垣市は「水は道用水(同一・二ト)た。利用がないと、返済足りている。現時点でを確保するため、ダムは県民にのしかかる。ダムの水は必要ない一建設費として五百三十四億円(利子含む)をダムのある西濃地方とする。工業用水の量負担。立て替えた水質垣市は「水都」と称さ地下水は無料だが、源機構に二十三年間できる。市町村や企業はダムの水は利用料金が



- 岐阜支社
〒500- 8875
岐阜市柳ヶ瀬高- 下田1番地
058 (265) 0191
Fax (262) 8706
(販売) (265) 0265
(広告) (266) 4791
(事業) (265) 0267
- 多治見支局
0572 (22) 3121
Fax (23) 5331
- 大垣支局
0584 (78) 2030
Fax (74) 6460
- 高山支局
0577 (32) 0350
Fax (34) 5215
- 関支局
0575 (22) 3234
Fax (24) 3939
- 中日新聞へのご意見は
読者センターへ
052 (221) 0800
Fax (221) 0819
Eメール
center@cnnunichi.co.jp

観光で町おこし模索



必要になる。海津市は「市が自前で地下水を必要になる。海津市は「市が自前で地下水を利用するコストと比べ、ダムの水を買う方が、最近ひっそりと見取り図ができていないのは事実」とも続静まり返ることが多くなつた。

「あまり人は来なくなつたね。あれだけ騒いでいたのがうそみたい」。月に一度、ダムに足を運ぶ揖斐川町の無職清田孝治さん(80)は寂しそつに語る。ダム建設中は高さ百六十一メートル、貯水量日本一の威容を見ようと大勢の見物客が訪れた。過疎化が進む揖斐川町にとつて、ダムをどう生かすかは地域活性化の鍵を握る。迫力ある「観光放水」で人気の黒部ダム(富山県立山町)は年間百万人が訪れる。まちづくりに取り組む地元NPO法人のメンバーらが「課題はあつても、ダムは大切な財産」と活用策を練り始めた。ダムを含めた観光ルートを設定し、PRする計画だ。

「おまわりは来なくなつたね。あれだけ騒いでいたのがうそみたい」。月に一度、ダムに足を運ぶ揖斐川町の無職清田孝治さん(80)は寂しそつに語る。ダム建設中は高さ百六十一メートル、貯水量日本一の威容を見ようと大勢の見物客が訪れた。過疎化が進む揖斐川町にとつて、ダムをどう生かすかは地域活性化の鍵を握る。迫力ある「観光放水」で人気の黒部ダム(富山県立山町)は年間百万人が訪れる。まちづくりに取り組む地元NPO法人のメンバーらが「課題はあつても、ダムは大切な財産」と活用策を練り始めた。ダムを含めた観光ルートを設定し、PRする計画だ。四月二十九日には町も働き掛けてきたダムの「観光放流」が初めて実現した。活動に参加する主婦高橋美江さんは、せっかくの日本一のダム。有効活用できるとの知恵を絞りたい」と力を込める。



徳山ダム 水資源 発電などの多目的ダム。建設に伴い、旧徳山村全世帯の約1500人が移転した。1995年に構想が浮上し、昨年5月に本格稼働。総事業費は3500億円。四月二十九日には町も働き掛けてきたダムの「観光放流」が初めて実現した。活動に参加する主婦高橋美江さんは、せっかくの日本一のダム。有効活用できるとの知恵を絞りたい」と力を込める。

必要になる。海津市は「市が自前で地下水を利用するコストと比べ、ダムの水を買う方が、最近ひっそりと見取り図ができていないのは事実」とも続静まり返ることが多くなつた。